

第1回 第4期加西市教育振興基本計画審議会 要点のみ

R7.6.27 開催

1. 第4期加西市教育振興基本計画の基本骨子について説明

- ・ 計画期間:令和8年度から5年間
- ・ 基本理念:「郷土を愛し 豊かに未来を拓く 人づくり~人生 100 年時代をたくましく 創造的に生きる~」
- ・ 教育目標:挑戦(Challenge)、協働(Collaborate)、創造(Create)できる「3C次世代型人材」の育成
- ・ 施策の柱:(加西の教育3本の矢)
 - 加西BASE:学びの基盤となる確かな学力、豊かな心などの育成
 - 加西STEAM:課題解決能力や非認知能力(探究活動、ICT活用)の育成
 - 加西GLOBAL:世界とつながる力(外国語教育、多分理解)の育成
- ・ 施設の構成(マトリックス構造):
「ライフステージ(幼児・学校・障がい)×「3つの基本施策」を組み合わせた構造
 - 基本施策1:「3本の矢」による人材育成
 - 基本施策2:教育環境・施設の整備(学校再編、働き方改革を含む)
 - 基本施策3:ウェルビーイングの視点に立った体制構築(誰一人取り残さない教育)
- ・ 主な取組:
 - 小中学校の学校再編(統合)とそれに伴うスクールバス運行や施設整備
 - 部活動の地域展開への移行推進
 - 業務 DX による教職員の負担軽減と質も向上(働き方改革)

2. 主な議論

- ・ 多文化共生:「GLOBAL」の項目で、子供だけでなく、外国人保護者への支援や地域での多分理解の視点が必要ではないか
- ・ 学校連携:中学校と北条高校等との連携を具体的に計画に入れてはどうか
- ・ 広報・周知:「STEAM」など専門用語が多く、保護者に伝わりにくいため、わかりやすい情報発信を工夫すべき
- ・ 不登校支援:不登校の現状や、具体的な教育保障のあり方についての意見が質問が多かった
- ・ 生涯学習:人生100年時代に対応するため、「リカレント教育」「リスキリング」といった学びなおしのキーワードを検討してはどうか

「青少年リーダーの育成」を盛り込んでほしい

- ・ 表現の修正:「アナログな体験」を「リアルな体験」にしてはどうか
「安全・安心」の使い分けや誤字の指摘
幼児教育における「自己効力感」等の用語が適切かどうか
- ・ 構造への評価:ライフステージ×施策のマトリックス構造は非常にわかりやすいと評価する